

DAVOS ドロPPERシートポスト テクニカルマニュアル

この度はご購入ありがとうございます。「DAVOS ドロPPERシートポスト」は走行中に素早くサドル高を調整できるように設計されています。正しく取り付けないと故障の原因となり、重大な怪我や死亡事故に繋がる可能性がありますので、以下のマニュアルをよく読んで下さい。

注意事項

⚠ 警告

- ・ 不適切に取り付けられた製品は、予期せず故障するリスクがあり、ライダーがコントロールを失って重症または死亡に至る恐れがあります。

⚠ 注意

- ・ 本製品の自転車への取り付けや調整には専門知識が必要です。取り付け方法がわからない場合は販売店へ取り付けをご相談ください。正しく取り付けられていないとシートポストが故障し、重症や死亡の原因となることがあります。
- ・ シートポストのアップチューブをワークスタンドに固定しないでください。
- ・ 動作不良の原因となりますので、シートポストを縮めた状態でサドル吊りかけ式のバイクラックを使用しないでください。
- ・ 取り付けの際は少なくともミニマムインサートラインまでシートポストが挿入されていることを確認してください。ミニマムインサートラインが露出していると、シートポストやフレームが破損する原因になります。
- ・ 転倒や事故により大きな衝撃が加わった際は、安全に走行できることを確認するために専門店で点検を行ってください。
- ・ 乗車の際は必ずヘルメットを着用し、自分の限界の範囲内で走行しましょう。

取り付け方法

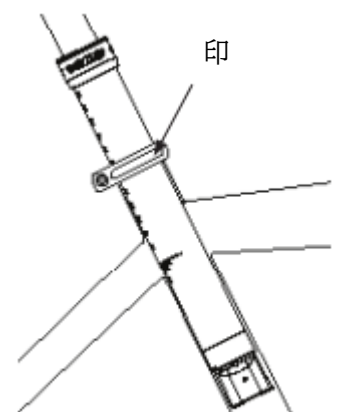
【必要工具】

- ・ 2/3/5mm アーレンキー ・ テープ(位置決め用) ・ グリス(カーボンフレームにはカーボン用グリスを使用)

※本製品にリモートレバーやケーブル類は付属していません。

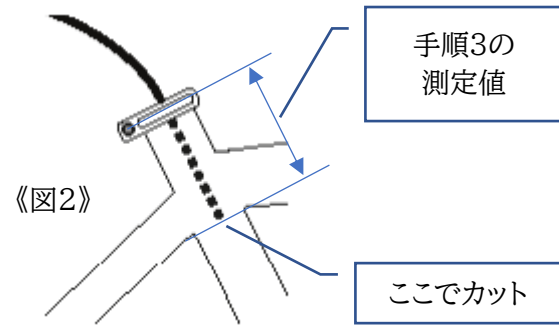
対応するリモートレバーやケーブル類を別途お買い求めください。

- 1, 装着するリモートレバーのマニュアルに従い、リモートレバーを装着します。
- 2, シートポストの挿入長を決めるために、シートポストを自転車に挿入してください。
《図1》の箇所にテープで印をつけ、シートポストを取り外します。
- 3, テープからシートポストの底までの長さを測り、測定値を書き留めておきます。
測定値は“手順6”で使用します。
- 4, アウターケーシング(リモートレバー側)にエンドキャップを付けてリモートレバーに接続し、ケーシング長を決定します。ハンドルを回転させた際に他パーツへの干渉や、ケーシングの突っ張りが無いことを確認してください。



《図1》

- 5, ケーシングがシートチューブから突き出ている箇所にテープで印をつけます。シートポストの挿入分短くカットする必要があるため、ケーシングをシートチューブ側にある程度引き出します。
- 6, ケーシングを印の位置から“手順3”の測定値分短くカットし、エンドキャップを取り付けます。
- 7, インナーケーブルをケーシングに通し、ケーブルのタイコをシートポストのカプラーに収めます。《図3》
- 8, ケーシングをケーシングストップに収めます。《図3》
- 9, シートポストを“手順2”で付けた印の位置まで挿入し、ケーシングとケーブルを反対側から引っ張ります。
- 10, リモートレバーのマニュアルに従い、ケーシングとケーブルを取り付けます。
- 11, リモートレバーを操作し、ケーシングが正しく収まっていることを確認します。



※ 上記の取り付け方法がわからない場合は必ず専門知識を持った販売店にて取り付けを依頼・ご相談ください。

メンテナンス

- 毎回の走行後
シートポストから汚れや泥、破片を取り除き、特にシール部分に汚れや泥、破片がないことを確認してください。
- 120 時間の走行ごと
カラーを緩めて古いグリスを除去し、新しいサスペンション専用グリスをカラーの下に十分塗布します。塗布後にカラーを締め直し、シートポストを 5~10 回伸縮させてグリスを広げます。
- 400 時間の走行ごと
内部の摩耗を点検し、必要に応じてパーツを交換します。内部点検やパーツ交換については購入された販売店へご相談ください。

品質保証

「DAVOS ドロPPERシートポスト」は購入日から 1 年間の品質保証を設けています。適切にメンテナンスされた製品が保証期間内に故障した場合、修理や交換を行います。保証期間内であっても、誤った組み付けや使用、改造や必要以上の分解、通常使用に伴う自然摩耗や経年劣化、事故や転倒、その他不適切または過剰な使用による故障については保証の対象外となります。

保証に関する質問は株式会社フカヤマまでお問い合わせください。